

報告書抄録

ふりがな	ばんばいせき・はりさわいせき							
書名	番場遺跡・播沢遺跡							
シリーズ名	日野徳原線道路整備工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	辻川 哲朗							
編集機関	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	令和5年(2023年)3月24日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ばんばいせき 番場遺跡	しがけん 滋賀県	252042	383-034	35度 00分 58秒	136度 12分 42秒	20170403 ～ 20170930	700㎡	日野徳原線 道路整備工事
はりさわいせき 播沢遺跡	がもうぐん 蒲生郡		383-037	35度 00分 43秒	136度 12分 53秒	20170403 ～ 20170930	2,000㎡	
	ひのちよう 日野町	20181112 ～ 20190322				2,145㎡		
	みそつ 三十坪	20190401 ～ 20200708				2,280㎡		
うちけ 内池								
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
番場遺跡	—	縄文時代晩期		小穴		縄文土器		樫王式深鉢を埋納した小穴。
	—	平安時代末～ 鎌倉時代		土坑・小穴		瓦器・黒色土器・土師器等		集落縁辺部に相当するか。
播沢遺跡	—	古墳時代前期		土坑・小穴・溝・ 自然流路等		土師器等		集落縁辺部に相当するか。
	—	古墳時代後期		溝		須恵器・土師器・木製品(刀形代)		
	—	平安時代前期		土坑等		緑釉陶器・土師器等		
	集落	平安時代末～ 鎌倉時代		掘立柱建物・井戸・ 溝・土坑・小穴等		瓦器・黒色土器・土師器・陶磁器等		
要 約	<p>番場遺跡・播沢遺跡は日野川上流部扇状地上に展開する遺跡である。今回の発掘調査の結果、調査地ならびにその周辺における土地利用の変遷の課程を以下のとおり明らかにすることができた。</p> <p>① 縄文時代 今回の調査地点で最も早い段階の活動痕跡となるが、活動痕跡は乏しく、縄文時代晩期頃の土器埋納小穴1基のみを確認した。</p> <p>② 弥生時代 弥生時代中期頃の土器片が遊離資料として後世の遺構内から出土している程度にとどまり、積極的な活動を想定することは難しい。</p> <p>③ 古墳時代前期 播沢遺跡において活動痕跡が顕著となる段階である。検出遺構は土坑・小穴や流路・溝で居住関連遺構は検出できなかったが調査区東側の扇状地上に当該段階の居住域の存在が想定される。</p> <p>④ 古墳時代後期 総じて遺構・遺物は乏しい。</p> <p>⑤ 平安時代 飛鳥・奈良時代については、若干の遺物が出土する程度であり、10世紀頃に活動痕跡を確認できるが、小穴1基にとどまる。</p> <p>⑥ 平安時代末～鎌倉時代 12世紀後半～13世紀前半に相当する。播沢遺跡で掘立柱建物・井戸等の居住関連遺構を確認し、東側に隣接する地点での町教委による調査成果を合わせると、当該期に主屋と数棟の副屋・井戸等からなる屋敷地がこの付近に展開していたと考えた。</p>							